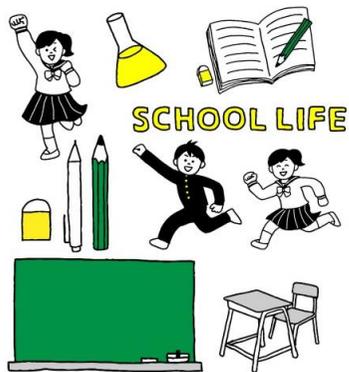


学校評価アンケート結果の分析・考察その1

<学校全般について>

<設問1> 学校生活が快適で楽しい (生徒)

飯野中は、保護者・地域の願いに応えている (保護者)



全校生徒の96%が「学校生活が快適で楽しい」と前向きに評価している一方、1年生の4%、3年生では9%の生徒が、そうは感じていません。

昨年度は全校生の92%がプラス評価でしたので、昨年度よりは改善されていますが、3年生の9%のマイナス評価が気になります。

3年生は、受験を控えて色々な課題や進路へ向けた不安も増大していること、また今年度はコロナの影響により2ヶ月以上の臨時休業があり、その分の学習内容が10ヶ月の間に詰め込まれていることなども影響している

かもしれません。これまでの二者面談、そして今週からの三者面談で具体的な悩みがあれば相談し解決していきたいと考えます。

設問1の保護者回答は全体で95%がプラス評価でしたが、マイナス評価の割合を見ると1年生保護者が10%、2年生が0%、3年生が4%と、1年生が突出している印象があります。今年度は、入学当初からの臨時休業、その後もPTA総会や学年・学級懇談会も開催できない状況が続いていることがその一因なのかもしれません。

初めての中学校生活の中で、保護者同士全体で顔を合わせることもないままの現状がこうした評価になっているのかもしれません。何か不安なこと、疑問や悩み等がありましたら、お気軽に学校までご相談ください。



<設問2> 飯野中は学校の様子をよく知らせている (保護者)

保護者はおたより・HP等をよく見ている (生徒)



今回の設問の中で、保護者の皆様が最も高く評価したのがこの設問でした。全保護者の99%が学校の情報発信についてプラス評価をしています。特に今年度は、2ヶ月以上の臨時休業を経ての学校再開、また感染状況が日々刻々と変化し、目に見えないウイルスへの対応が次々と求められたことで、「学校は今どうなっているのか。」「感染防止対策は万全なのか。」という目に見えない不安があると考えました。そこで、不安払拭の第一は、情報の公開・共有と説明責任だと考え、この学校だよりを頻繁に発行し、今の学校の状況や感染防止の対策、今後の方針等をできるだけ詳細に、保護者のみなさまにお伝えしてきました。さらには、各学年主任・学級担任も、学年・学級便りをまめに発行し、各学年の状況をお知らせしていたこと、HPでもできるだけ生徒の活動の様子をお知らせしたこと等が、この高い評価につながったものと考えます。この高い評価の裏には、それだけ、保護者の皆様が学校のことに興味を持っているということだと考えます。学校としても手応えを強く感じています。

注目

では、保護者の関心の高さについて、生徒の目線からの評価を見てみます。保護者の99%という関心の高さについては、生徒も同じように高く評価すると思ったのですが、生徒のプラス評価は86%となり保護者のプラス評価よりも13%低くなっています。例えば、修学旅行期間のブログのビジター数は物凄い人数でしたが、お子さんにはそうした様子が伝わりにくい家庭がこのくらいあるということなのでしょう。

学校のこと、お子さんのことについて、家族で話題にする機会が頻繁にあれば、生徒も、保護者が興味を持っていると感じるのだと思います。この結果は、家族の会話が少ない家庭の割合を示しているのかもしれません。各家庭で、子どもと対話をまめにしているかどうか、これを機に点検してみてください。

お子さんのこと、学校のこと、先生のことなど、時間を見つけて、笑顔で、家族の中で日常的に会話をすることが大切なことだと考えます。